



ひ - び - き

令和元年 5 月 21 日

「あいさつ」できる子に！

5月の全校朝会で「あいさつ」について話をしました。

というのも、とても残念なことです。地域の方々から本校の子たちは、「あいさつしても返ってこない。」「声がとても小さい。」「無視して通りすぎる。」など、あまりいい声を聞きません。

当然、学校としてもことある度に、「あいさつ」の大切さ、なぜ「あいさつ」が必要なのかも含めて話をしているのですが、なかなか劇的な変化がないというのが実状です。

先日の全校朝会では、

「弘道のあいさつ信号を青にしよう！」と呼びかけました。② ② ②

あ : あかるく
お : おおきく
だ : だれにも



ふと、思ったこととして、ご家庭でのあいさつはどうなんだろう・・・。

「おはよう」「おやすみ」「いってらっしゃい」「おかえり」「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」「ごめんなさい」・・・

あいさつと言っても、いろいろなあいさつがありますが、ご家庭の中で、このようなあいさつが自然にかわされていますでしょうか？

以前、こんな経験があります。私は、ウォーキングが趣味で、よくいろいろなところを徘徊しているのですが、ある小学校の校区を歩いていると、見ず知らずの変なおじさんの私に出会った子どもが「こんにちは」と、笑顔であいさつしてくれました。そして、次に出会った子も、同じようにあいさつしてくれるのです。その後、親子で歩いていらっしゃる方がこられて、すれ違う際に、まずお父さんから「こんにちは」そして、その後、お子さんが「こんにちは」とあいさつをしてくださったのです。

その時思ったのは、家庭、地域全体で取り組んでいらっしゃるからこそ、定着しているんだろうなあ・・・と。

親の姿勢が子どもたちに与える影響は大きいものがあります。

ぜひとも、明るく、大きく、誰にもあいさつできる子どもたちにしたいと考えていますので、ご家庭でも声かけと、率先垂範をしていただけたらと思っています。

子どもたちって、すごい力をもっていて、子どもたちの存在自体が、大人に元気を与えてくれ、子どもたちの笑顔と元気な声が、地域の大人にいっぱいエネルギーを分け与えてくれます。まさに、子どもたちは大人を元気にする魔法使いです。

そんな素敵な魔法使いを、「大魔法使い」にしていこうじゃありませんか！
よろしく願います。





小学校の一大行事！

— 6年修学旅行 & 5年自然学校 —



小学校の思い出を卒業する6年生に尋ねると、やはり、思い出ベスト1、2は、「6年の修学旅行」「5年の自然学校」というのが、王道です。

そんな大きな行事が近づいてきました。6年生は、5月23日・24日の2日間、広島・宮島方面に旅行に行ってきます。もちろん、広島に行く目的は「平和について考える」ためです。戦争によって多くの尊いのちが犠牲になったことを学び、自分たちの手で平和を守り続けることを誓うため、平和公園に行きます。

また、5年生は自然学校として、6月3日から、兎野高原、気比に行き、家族と離れて仲間と協力しながら4泊5日過ごします。きっと、その中で、自然の素晴らしさ、そして、家族のありがたみを感じることでしょう。

行事の実施あたって、準備が大変かと思えます。特に、自然学校の準備はとてもお手数をおかけしますが、子どもたちと一緒に話をしながら、準備をしていただくとありがたいです。一番子どもたちが困るのは、準備をおうちの方が全部やっちゃって、カバンの中に何が入っているかさっぱりわからないという状態です。ご注意ください！

オープンスクール 5月28日（火）

4月の参観日から約1ヶ月たちます。

例年は、授業参観と学級懇談会を実施していたのですが、子どもたちの学校生活まるごとを見ていただくのもいいのではないかと考え、5月28日はオープンスクールにしました。休み時間はどうしてるんだろう、給食は？そうじは？

気になる時間帯、いつでも結構です。子どもたちの様子をご覧ください。

飾らない子どもの姿を見るチャンスかも？



なかよし学級 開級式 5月31日（金）

豊岡市人権文化創造活動支援事業として毎年実施しています「なかよし学級」を、今年度も実施していきます。

正しい人権意識を身につけること、そして、それを守りぬいていくことが大切です。本校では、この「なかよし学級」の活動を通して、差別のない社会にしていくための力を身につけていきたいと考えています。

開級式 5月31日 16:30～ 隣保館

基礎的な力の定着を目指して！

本年度から、10時30分から35分までの5分間、『ドリルタイム』を設け、算数の計算演習を実施しています。「え？たった5分？5分じゃ力がかからないんじゃない？！」と思われた方もいらっしゃると思います。

しかし、「たかが5分。されど5分。」です。5分間の計算を毎日、ずっと続けていくことで、必ず力になっていくと信じています。

これを導入したのは、本校の児童の多くに、算数への苦手意識、計算ミスがみられるからです。この課題を解消する一つの方法として、計算力のUPを図りたいと考えたわけです。

人間は忘れる動物です。だからこそ、繰り返しが必要で、例えば2年生で学習した九九は、計算する時のおおもとになります。3年生になり新しい学習を始めたたん、九九をあまり練習しなくなり、その内に忘れ、だんだんあやしくなっていく傾向があります。

それを少しでも防ぐ取組として、わずか5分間ですが、『ドリルタイム』を継続し、基礎的な力の定着を図っていきたくて考えています。

